



ぴっぴだより

No.13. 2026. 3. 18

気持ち好い冬の晴れの日、浅間サンラインを上田方向に一人で車を走らせていると、正面に真っ白な北アルプス！その美しさに思わず感動の声を挙げていました。そして同時に「今ここに居ること」「長野で暮らしていること」「ぴっぴがあること」「家族がいること」「今の自分の在り方」…自分の周りの全てに深い感謝の気持ちが湧いてきて、「ありがとうございます」と声に出していました。年を重ねる度に濃い人生を送らせてもらっていることに感謝の気持ちでいっぱいになります。

ここ数年は夫と、「幸せな人生だったね」「出会えてよかったね」と語ることが増えてきました。夫と出会って60年、結婚して54年、4人の子どもたちを授かり、6人で力を合わせながら仲良しな家族を築いてきました。

毎年お元日に、わが家は一人一人の一年の重大ニュース発表の会を15年以上続けています。赤ちゃんはもちろん両親がしますが、孫たちは絵や文章で準備し、自分で発表します。それぞれに書き綴り、順番に語り、笑いあり、涙あり、考え合う時間でもあります。今は17人分なので4時間ほどかかるので、ちいさい人たちが先に発表し、遊びへ移っていきます。大人たちはじっくり自分を語ります。理解し合う時間でもあります。それぞれの一年を感じる時間でもあります。その日のおやつタイムは、眞弓特製チョコレートケーキを囲んで、全員のお誕生日祝い！が恒例です。

大切に続けていることのもう一つに中澤親族（夫の2人の妹家族）の夏の旅があり、今年で34年目になります。関東圏、中京圏、長野圏から今では全員揃うと42人！子ども世代も孫世代も仲良しで、ここから子どもたち世代の「いとこ会」が生まれ、私たち世代の「夫婦の会」もあります。そこにプラスわが家には子どもたちが結婚してから、義理のご両親と私たち夫婦の4人旅も定期的であり…忙しい！けれど楽しい！婿殿たちは定期的に婿会と称して、飲みに行ったり泊りに行ったり…一年に一回は拡大婿会と言って、夫とわが家の長男も加わって一泊の温泉旅をやっていきます。昨年は婿殿3人とお嫁さん1人の4人の会が発足！「外様の会」と言うような…。繋がること、集まるのが好きな家族なのでしょう。

家庭のベースは夫婦であること、2人が仲良しであること、は意識していました。夫婦が真ん中で子どもたちがその周りにいることをイメージしていました。いつか子どもたちは伴侶を見つけ、私たち夫婦の在り方を感じながら新しい家庭を築いていく。子どもたちが真ん中ではない在り方は、子どもも大人も一人の独立した人として、家庭の一員として家庭を造ってきたように思います。

家庭を営む中で「やれる人がやる」もベースにありました。子どもたちが小さい時も「お手伝い」とは言わず「お仕事」として自然に洗濯物を畳んだり、お掃除したり、洗い物したり…。夫が多忙な頃は私が家庭の一切切切をやっていましたが、この10年は夫が自然に家庭内のことをやっています。歳を重ねてきた今、夫婦の協力の在り方、支え合い方、繋がり方、これから大切にしたいことをあらためて語り合っています。

今年度もたくさんのすてきな言葉たちに出会いました。一人で食べているおおくりさんに「一人じゃ寂しいからそっちに行こうか？」と声を掛けるくりさん。こんな言葉を掛けられたら自分も優しくしようと思いますよね。痛くされて泣いたまつぼっくりさんは、「まちがえたの」と言われて「まちがえちゃったんだって！」と涙を引っ込めました。まちがい即、許していたら世界は平和ですよ。こんな子どもたちと一緒に日々、大人たちが育てられている感覚があります。学びの循環があるから、この歳になっても進化を感じられるのでしょうか。この時期になると、先を生きている者として、この一年「子どもたちが自分らしく生きること」を支えられたらどうか…と思わされます。

おおくりさんたちと卒園準備の歌を歌っていると「涙が出てくる…」「ぴっぴはいっぱい泣いていいところだから泣きな…」そんな会話が聞こえてきて、涙を流している人たちがいます。「最後の日は、みんなでいっぱい泣いちゃおう」と話しています。おおくりさんたちとみんなに伝えたいことを考えました。お父さんお母さんに伝えたい人がたくさんいました。「ぴっぴに入れてくれてありがとう」「産んでくれてありがとう」「成長させるの大変だと思うけど、これから自分でやるよ」…そんな言葉たちが自然に出てくる、最後の深い時間でした。

禅くん、素々ちゃん、望成ちゃん、宙蒼くん、然大くん、詩織ちゃん、環くん、華ちゃん、千秋ちゃん、碧莉ちゃん、櫻子ちゃん、楽しい4年間でした。一緒に創ってくれてありがとう！ご卒園、おめでとう！行ってらっしゃい！そして…いつでも帰っておいでね。

おおくりの保護者の皆さま、不安になったり骨休みしたくなったらいつでもぴっぴの森で充電してくださいね。

保護者の皆さま、今年度もありがとうございました。いつもたくさんの応援を感じていました。笑い合ったり、考え合ったり…共に歩いて下さってありがとうございました。始まる新年度に、私たち大人も子どもたちに負けないくらいわくわくいたしましょう。好い春休みになりますように。4月7日（火）ぴっぴの森でお待ちしております。

：中澤真弓

庭の恵みを食べよう♪遊ぼう♪楽しもう♪ 巣立ち号 改め♪

2月の中旬頃から日の光が強くなり、あたたかくなり、その頃から小鳥たちのさえずりや、姿を庭でよくみかけるようになりました。

巣づくり号

冬の間居られていた小鳥たちは春先には単独またはつがいで、春からの新居の場所探しや新居づくり(巣づくり)の準備をはじめます。巣材となるコケや

鳥の羽 なんと1つの巣に 1500~2000本も 集めるとか!!

枝などを口ばしにくわえ、小まそくに飛び回る姿は春が近づいてきたことを



エナガのご夫婦は3月頃より協力して巣をつくります。

感じさせてくれます。

枝に 糸を丸めたものを吊るして おくととりにくる姿が みられます♪



はばたきながら 糸をつんつん! かんぱし〜♪ と応援してくるらいます



先日テラスの上でみかけた: シジュウカラ コケと重た物の毛?! を口にくわえています。 コケは、ふりつかたふわふわの巣をつくります。

庭の切り株に座って本を読んでいたら、ヤマガラがいつのまにか 隣に! つん、つん!とつかれて♪ ふわふわのセーターを着ていたのですが、どうやら巣材に使いたかったみたいです。



うぶくすくすーい

フワフワの ワンちゃんも よく狙われるらしいですよ



かわいらしい Xジロの巣 大きさは 8x8cm くらい。

木々が芽吹く前の今、実は小鳥たちの観察しやすい時。ぜひ、この春休み、お庭で、外で鳥たちの姿を探してみたいかがでよう♪ よくみていると、鳥によって、個体によって愛嬌があり、性別がみえたりしておもしろいですよ。そして... ひっひを巣立ちのおおくりのみなさん、おめでとーございます。また、ひっひという巣で再会できる日を楽しみにしています♪ 菜々恵